
とある幸せ

日頃寝 ハル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
とある幸せ

【Nコード】
N0945P

【作者名】
日頃寝 ハル

【あらすじ】
幸せも自分ひとりだけだと不幸になってしまう。

私より幸福な人はいないんじゃないか！

私は今日来たばかりの合格通知を抱きしめて、思いっきりジャンプした。

本当にいきたい高校だったから、誰よりも努力したつもり。

面接の練習も、作文の練習も、遅くまで学校に残って先生にみてもらった。

その努力が実ったんだ。

ああ！幸せ！！

私はその日、友達にメールを送りまくった。

みんなに知ってもらいたくて。大勢の人に褒めてもらいたくて。みんなお祝いしてくれた。

おばあちゃん、まあい大きなケーキとバラの花束を買ってきてくれた。

私は今、世界中の誰よりも幸せな自信がある。

学校でもみんなお祝いしてくれた。

自分のことのように、喜んでくれた。

私は嬉しくて、嬉しくて、春がくることばかり考えてた。

高校に入学したらどんなスクールライフが待っているんだろうとか。授業の合間合間に、友達に私の明るい未来を話した。

学校の帰りにも、私は楽しい高校生活のことを友達と話していた。

友達が単語帳を持ち歩くようになった。

歴史の問題を出しあっている。

私は勉強しなくていいんだ！みんなのように。
勉強しないで行きかけた高校に入れるんだ！
私の幸せはいつでも口の端の笑みとなって、辺りに漏れていた。

ああ！ 幸せ！！

友達に「受かったら何してるの？ 暇じゃない??」と聞かれた。
友達は図書館で数学の問題を解いていた。

私はその横で借りた漫画を読んでいた。

私は「漫画読み耽って、撮りためた映画観て、……メツチャ遊んでる！」って答えた。

私は楽しい毎日を送ってる。誰よりも！

気がつくともみんな勉強していた。

授業の合間にもお喋りしなくなった。

放課後も単語帳をめくるみんなは、話掛けても答えてくれなくなっ
た。

私だけが幸せ。私一人だけが……

ひそひそ声が聞こえたような気がした。

「……周りのことも考えてほしいよね……」

ひそひそ

「……自分ひとりだけ受かったからって……」

ひそひそ

「……みんな必死に勉強してるっていうのに……」

ひそひそ

「ホント、最悪じゃない？」

私だけ幸せ。一人だけ幸せ。

でもそれって、実はとっても不幸だったんだ。

気がついた時には本当に一人になっていた。

（後書き）

読んでくださってありがとうございます。

幸せがいつぺんに不幸に感じてしまう時。

それは自分の幸せを、大切な人と共有できないときだと思っています。
自分のことのように喜んでくれる友達、とても大切にしたいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0945p/>

とある幸せ

2010年12月30日06時13分発行